

JKK東京(東京都住宅供給公社) 電子入札システムの操作手順について ～2. STSインストール編～

※本作業は、「1. クライアント証明書(電子証明書)インポート編」を行ってから、
実施してください。

令和6年1月

JKK東京(東京都住宅供給公社)

〈初回のみ〉 ダウンロード用サイト(STS)利用のための事前インストール	P.2~
〈初回のみ〉1. ダウンロード用サイト(STS)のインストール	P.3~
〈初回のみ〉2. STSからテストファイルのダウンロード	P.9~
3. STSからログオフする	P.13~
STS 困った時は・・・	P.14~
(インストール時)	P.15~
インストール時の失敗要因と対処内容	P.17
インストール台数が超えた場合のメッセージ	P.18
STSのアンインストール手順	P.19
(利用時、その他)	P.22~
電子入札システムのパスワードを変更した場合	P.22
(パスワードを失念し再発行した場合含む)	
「STSサービスを提供できない」メッセージが表示される場合	P.24
STSにログインできない、右下のカギマークが赤色になっている場合	P.25
「クライアントログ」の取得方法	P.26
STSアイコンを右クリックしてもログオンが表示されない場合	P.27
システムのアップデートに関する通知があった場合	P.28
STSをインストールしているパソコンを入れ替える場合	P.29

※ダウンロード用サイト(STS)は、指名された事業者が仕様書をダウンロードできる機能です。

STSを使用するためには、ツールのインストールが必要です。

STSのインストール手順、及び動作確認用の仕様書がダウンロードする手順の確認方法を記載します。

このSTSのインストール作業は、パソコンにログインしているユーザは管理者権限で行ってください。

なお、STSをインストールする際には、パソコンの再起動が必要になりますので、

必要なファイル等は必ず保存し、パソコンの再起動を行ってもいい状況にしてから、本作業を行ってください。

※インストール可能な台数は最大3台までです。

※STSのインストールは初回のみ必要な作業です。

インストール済の方は、このページ以降の操作は不要です。(すでにインストールしているSTSを利用ください)

※下記画面は、電子入札システムにログインした後の画面です。

（改めてログインから行う場合は、「電子入札システムの操作手順について～工事案件編～」または「電子入札システムの操作手順について～委託案件編～」の4ページ以降の「2. 電子入札システムを使うための事前準備」「3. 電子入札システムへのログイン(クライアント証明書によるアクセス)」を参照ください)

(1)画面左上の「STSのインストーラはこちら」をクリックします。



The screenshot shows the STS user interface. At the top, there is a blue header with a logo on the left, a link to the '電子入札システムの操作マニュアル' (Electronic Bidding System Operation Manual), and a 'ログアウト' (Logout) button. The server time is displayed as 'ServerTime 2004/03/08 20:31'. Below the header, a red box highlights the button 'STSのインストーラはこちら'. Underneath, the text '競争入札参加資格登録有効期限(工事) : 2009/06/30' is shown. The main content area is divided into several sections: '参加申込・指名確認はこちら' with buttons for '入札案件一覧' and 'JV入札案件一覧'; '入札・状況確認はこちら' with a list of case statuses (e.g., '入札待案件', '入札中案件', '開札案件', etc.) and a note to select at least one checkbox; '案件区分' and '登録業種' dropdown menus; '入札締切日' with a date range input and a search button; '会社情報はこちら' with buttons for 'パスワード変更' and '会社情報確認/変更申請'; and '様式・仕様書等はこちら' with buttons for '各種様式等ダウンロード' and '各種仕様書等ダウンロード'.

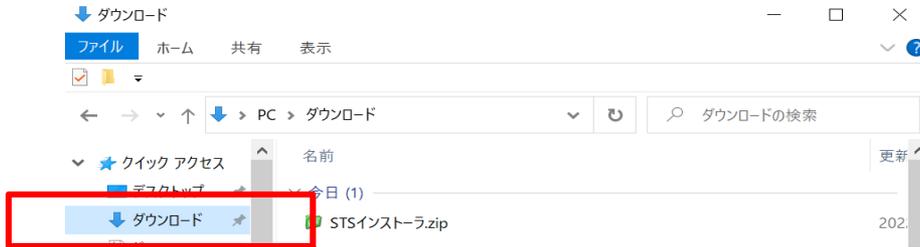
(2)画面下部に、「STSインストーラ.zip」が表示されますので、自分のパソコンにダウンロード(保存)します。



※ブラウザによっては、ダウンロードしたSTSインストーラは、画面上部に表示される場合もあります。



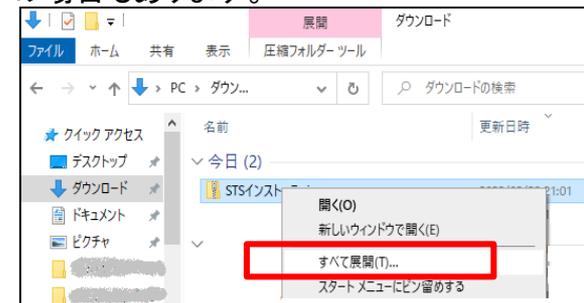
※通常は、ダウンロードフォルダに保存されています。



(3) ダウンロードした「STSインストーラ.zip」をダブルクリックします。
「このフォルダに解凍」を選択し、zipファイルを解凍します。



※お使いのパソコンによっては、「すべて展開」の場合もあります。

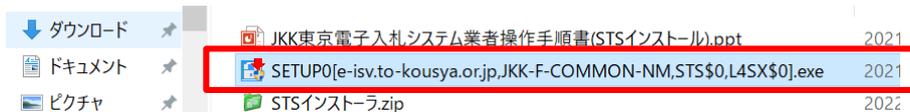


(4) 解凍(展開)すると、以下の2ファイルが出てきます。

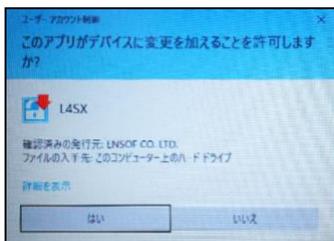
SETUP0[e-isv.to-kousya.or.jp,JKK-F-COMMON-NM,STS\$0,L4SX\$0].exe

JKK東京電子入札システム業者操作手順書(STSインストール).ppt <本手順書>

※必ず、解凍(展開)してから次ページ以降の手順を行ってください。(zipのままで行わないでください。)

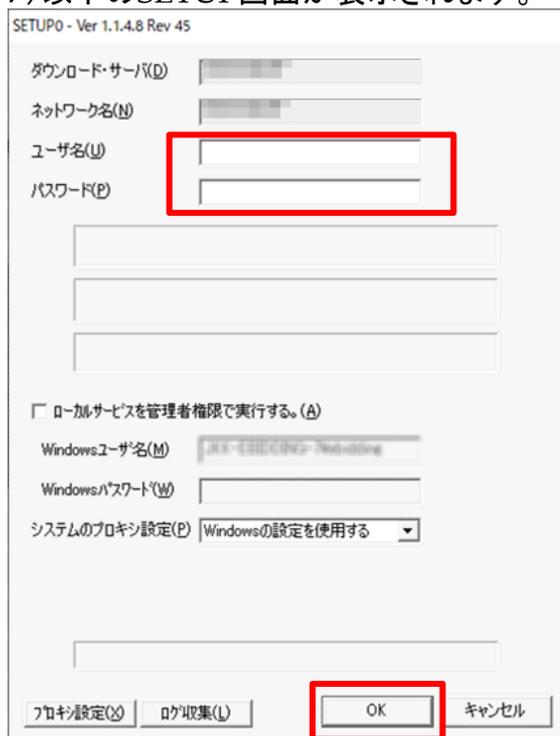


(5) ツール(インストーラ)をダブルクリックします。



(6) 左記画面が表示された場合は「はい」をクリックしてください。
(表示されない場合もあります)

(7) 以下のSETUP画面が表示されます。



以下が表示されていることを確認してください。

ダウンロードサーバ : e-isv.to-kousya.or.jp

ネットワーク名 : JKK-F-COMMON-NM

「ユーザー名」「パスワード」は、電子入札システムで使用している「ログインID」「パスワード」を入力してください。

[OK]ボタンをクリックします。

(しばらく待ちます。)

使用許諾条件

ソフトウェア使用許諾契約書

本ソフトウェア製品(以下「ライセンス製品」といいます)をご使用になる前に、下記の使用許諾契約書(以下「本契約」といいます)をよくお読み下さい。お客様は、ライセンス製品をコンピュータへインストールすることによって本契約のすべての条件に同意したものとみなされます。本契約の条件に同意いただけない場合はライセンス製品をインストールし使用することはできません。

第1条 定義
本契約において使用する次の用語は、以下の内容となります。

- 「ライセンス製品」とは、別紙に記載するソフトウェア及び関連資料を包括したものをいいます。
- 「本契約」とは、本使用許諾契約のことをいいます。
- 「認証サーバー」とは、ライセンス製品を動作させるために必要な認証情報を管理するサーバーのことをいいます。また、お客様にライセンスする製品が認証サーバーである場合は、それを動作させるために必要な認証情報を管理する上位のサーバーのことをいいます。
- 「認証サービス」とは、認証サーバーによる認証を行うことをいいます。
- 「使用装置」とは、ライセンス製品をその上で動作させる1台あるいは1組の特定の装置のことをいいます。
- 「製品購入先」とは、お客様がライセンス製品を購入した先のことをいいます。
- 「関連契約」とは、ライセンス製品を使用するにあたって、お客様が株式会社エンソフまたは製品購入先との間で締結する売買契約、保守サポート契約、サービスに関する契約、評価契約その他関連する契約を総称して、又は個別にいいます。

第2条 使用権の許諾
1.株式会社エンソフ(以下「エンソフ」といいます。))は、本契約記載の条件に従い、ライセンス製品に関し、日本国内における次項の非独占的かつ譲渡不可能な権利をお客様に対して許諾します。
2.お客様は、ライセンス製品を、使用装置にインストールし、もしくは当該使用装置上で動作もしくは表示させることができるものとします。

上記に同意します。(A)

表示(B)

ソフト名(S) STSクライアントソフトウェア

ユーザ名(U) 業者コード + 会社名

住所(D)

許諾日(L) 2019年10月1日

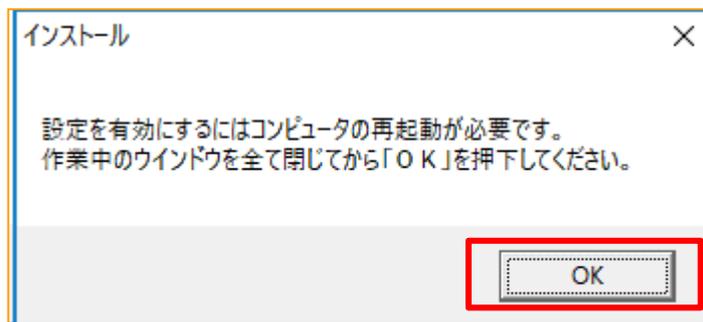
OK キャンセル

- (8) 左記画面が表示されます。
「ユーザ名」に、
業者コード + 自分の会社名 が表示されていることを確認します。

「上記に同意します。」をクリックします。
[OK]ボタンをクリックします。
(しばらく待ちます。)

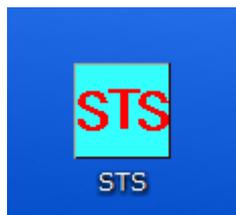


- (9) インストールが開始されますので、しばらく待ちます。
(インストール中は、左記のような画面が表示されます。)



- (10) インストールが完了すると、左記のダイアログが表示されます。

※OKボタンをクリックすると、
パソコンの再起動が必要になりますので、必要なファイル等は
必ず保存してから、[OK]ボタンをクリックしてください。
[OK]ボタンをクリックしてください。



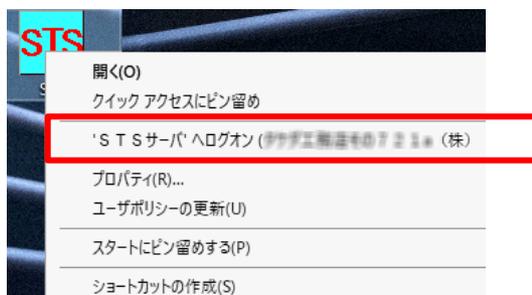
- (11) パソコンの再起動後、
デスクトップに左記のSTSアイコンが表示されたら、
インストールは完了です。

2. STSからテストファイルのダウンロード

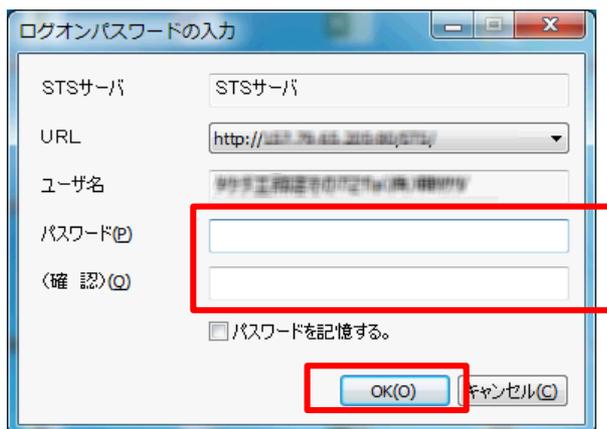
※以降は、STSからテストファイル(動作確認用ファイル)を取得する手順(設計図書等のファイルをダウンロードする手順)を記載します。



(1) STSにログインするために、
デスクトップにある[STS]アイコンを右クリックします。



(2) 「STSサーバへログオン(xxxxxx)」を選択します。
※xxxxxxには、業者コード+会社名が表示されます。
※「STSサーバへログオン(xxxxxx)」が表示されない場合は、
27ページ「STSアイコンを右クリックしてもログオンが表示されない
場合」を確認してください。



(3) パスワードを入力してください。
※パスワードは電子入札システムと同じです。
※初回は、「パスワード」「(確認)」の入力欄がありますので、
パスワードを2回入力してください。
※2回目以降は、「パスワード」の1つの入力欄になります。
(「(確認)」はなくなります)

[OK] ボタンをクリックします。

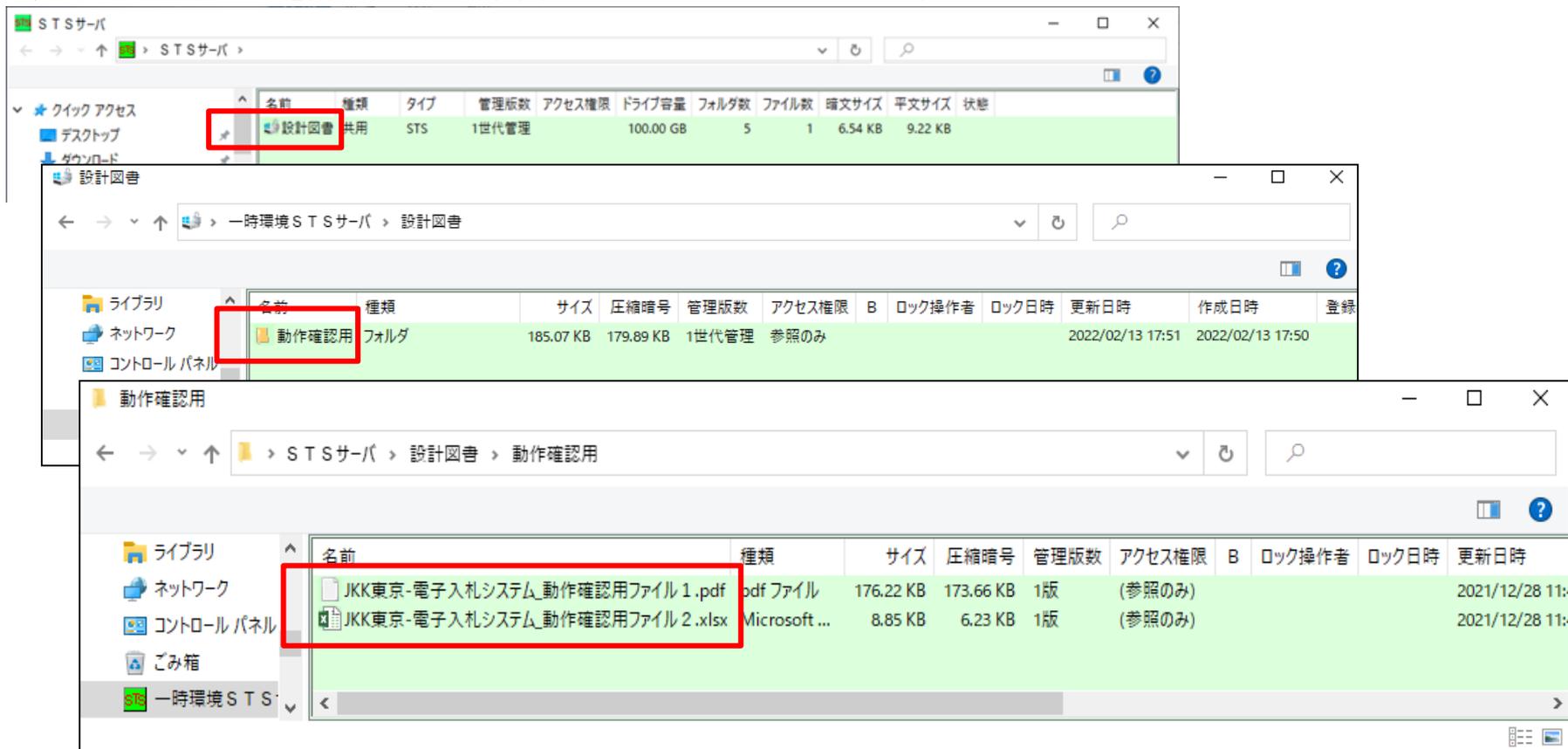


(4) ログオンに成功すると、アイコンの色が黄緑に変わります。



(5)黄緑色になったSTSをダブルクリックします。

(6)表示しているフォルダを開いていきます。最後にファイルが2つ入っています。

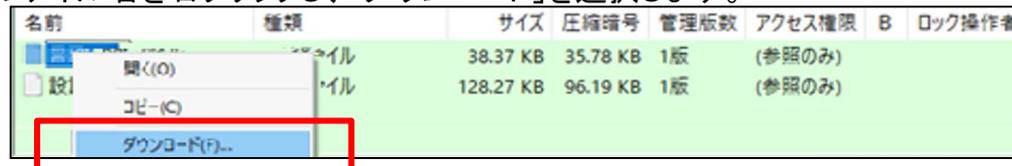


The screenshots illustrate the navigation process in Windows File Explorer:

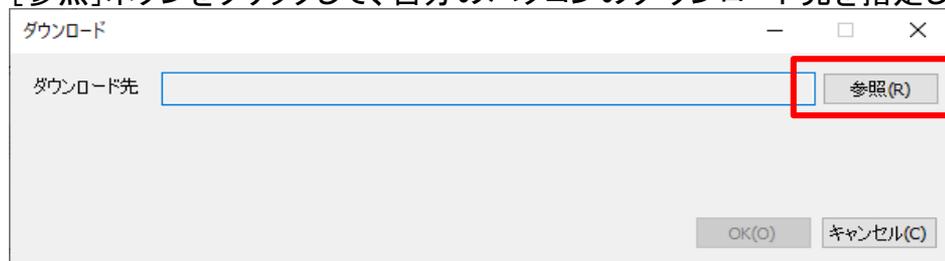
- The first window shows the root directory 'STSサーバ' with a table listing folders. The folder '設計図書' is highlighted in yellow-green and circled in red.
- The second window shows the '設計図書' folder, with the sub-folder '動作確認用' highlighted in yellow-green and circled in red.
- The third window shows the '動作確認用' folder containing two files, both highlighted in yellow-green and circled in red:

名前	種類	サイズ	圧縮暗号	管理版数	アクセス権限	B	ロック操作者	ロック日時	更新日時
JKK東京-電子入札システム_動作確認用ファイル1.pdf	pdf ファイル	176.22 KB	173.66 KB	1版	(参照のみ)				2021/12/28 11:...
JKK東京-電子入札システム_動作確認用ファイル2.xlsx	Microsoft ...	8.85 KB	6.23 KB	1版	(参照のみ)				2021/12/28 11:...

(7) ファイル名を右クリックし、「ダウンロード」を選択します。



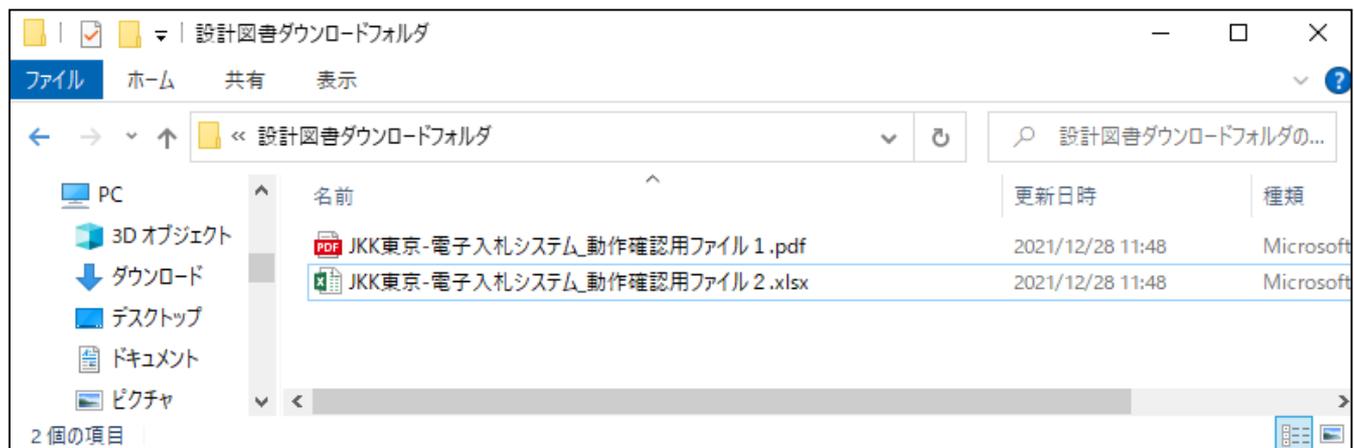
(8) 自分のパソコンのダウンロード先を指定する画面が表示されます。
[参照]ボタンをクリックして、自分のパソコンのダウンロード先を指定してください。



(9) [OK]ボタンをクリックします。



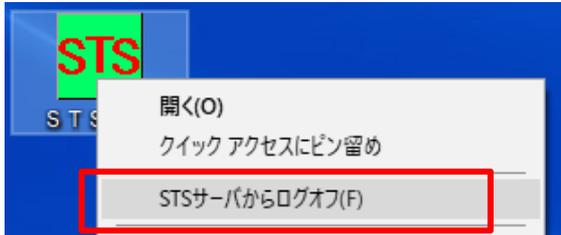
(10) 指定した自分のパソコンのフォルダにファイルがダウンロードされます。



※表示されているファイルが複数ある場合は、全てダウンロードしてください。

3. STSからログオフする

(1) STSのアイコンを右クリックし、表示されるメニューの「STSサーバからログオフ」をクリックすると、ログオフします。



(2) ログオフすると、アイコンの色が水色に変わります。

ここまで出来ましたら、初回設定時の動作確認は、完了です。

S T S

困った時は . . .

【インストール時の失敗要因と対処内容】

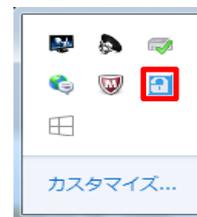
利用者様の環境によって、対処方法が変わります。「原因」に対応する【対処】の対応をお願いいたします。

インストール画面の表示	エラー内容	要因① ウイルスソフト関連	要因② Proxyサーバー環境	要因③ ファイアウォール
	① サーバーに接続出来ません	<p>【原因】 ウイルスソフトがインストーラ「Tcp2_setup0.exe」のプロセスの通信を遮断している。</p>	<p>【原因】 ISVのIPアドレスが制限されている。</p>	<p>【原因】 ISVのIPアドレスが制限されている。</p>
		<p>【対処】 以下のフォルダを監視対象から除外する設定を行ってください。 ・C:\Tcp2_</p>	<p>【対処】 以下のアドレスを接続許可（ホワイトリストに登録）にする。 ・http://e-sts.to-kousya.or.jp ・http://e-isv.to-kousya.or.jp</p>	<p>【対処】 以下のアドレスを接続許可（ホワイトリストに登録）にする。 ・http://e-sts.to-kousya.or.jp ・http://e-isv.to-kousya.or.jp</p>
	② Proxy認証エラー	-	<p>【原因】 Proxy認証が有効になっている。</p>	-
			<p>【対処】 インストール画面の左下の[プロキシ設定]ボタンを押してプロキシのID、パスワードを入力する。</p> <p>※以降の手順は、次ページ「【別紙1. Proxy認証情報の変更方法について】」を参照ください。</p>	

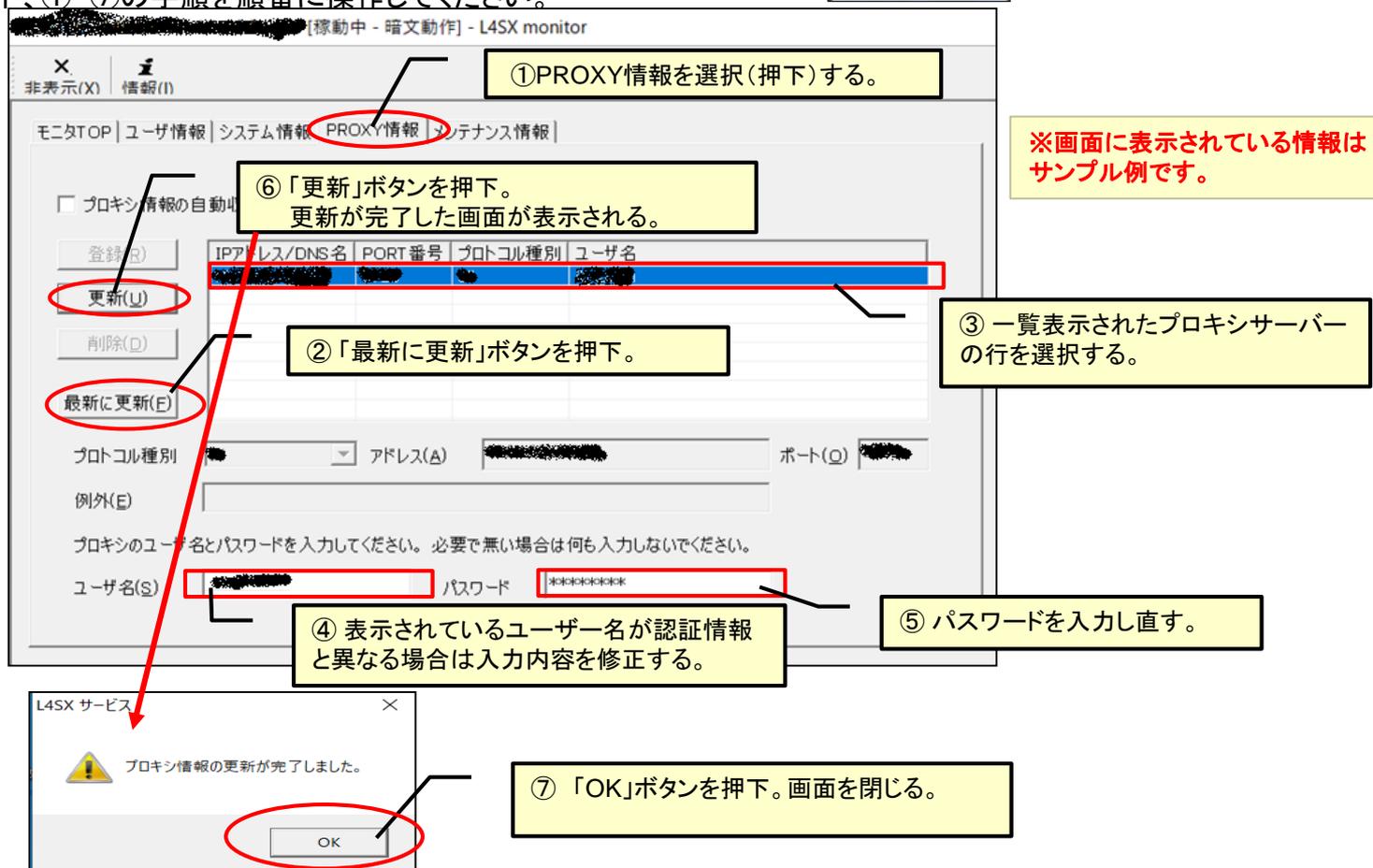
前ページで「Proxy認証情報の変更方法について」の対処が必要な場合、以下の対応をお願いいたします。

【Proxy認証情報の変更方法について】

(パソコンの右下にある「^」をクリックして表示する)タスクトレイの
右の(青い鍵のようなマーク)アイコンをクリックすると、
下記の画面が表示されます。



以下、①~⑦の手順を順番に操作してください。



①PROXY情報を選択(押下)する。

②「最新に更新」ボタンを押下。

③一覧表示されたプロキシサーバーの行を選択する。

④表示されているユーザー名が認証情報と異なる場合は入力内容を修正する。

⑤パスワードを入力し直す。

⑥「更新」ボタンを押下。
更新が完了した画面が表示される。

⑦「OK」ボタンを押下。画面を閉じる。

※画面に表示されている情報はサンプル例です。

モニタTOP | ユーザ情報 | システム情報 | **PROXY情報** | メンテナンス情報

プロキシ情報の自動更新

登録(R) | 更新(U) | 削除(D) | 最新に更新(E)

IPアドレス/DNS名	PORT番号	プロトコル種別	ユーザー名
[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]

プロトコル種別: [Redacted] | アドレス(A): [Redacted] | ポート(Q): [Redacted]

例外(E)

プロキシのユーザー名とパスワードを入力してください。必要で無い場合は何も入力しないでください。

ユーザー名(S): [Redacted] | パスワード: [Redacted]

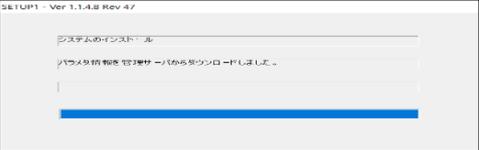
L4SX サービス

プロキシ情報の更新が完了しました。

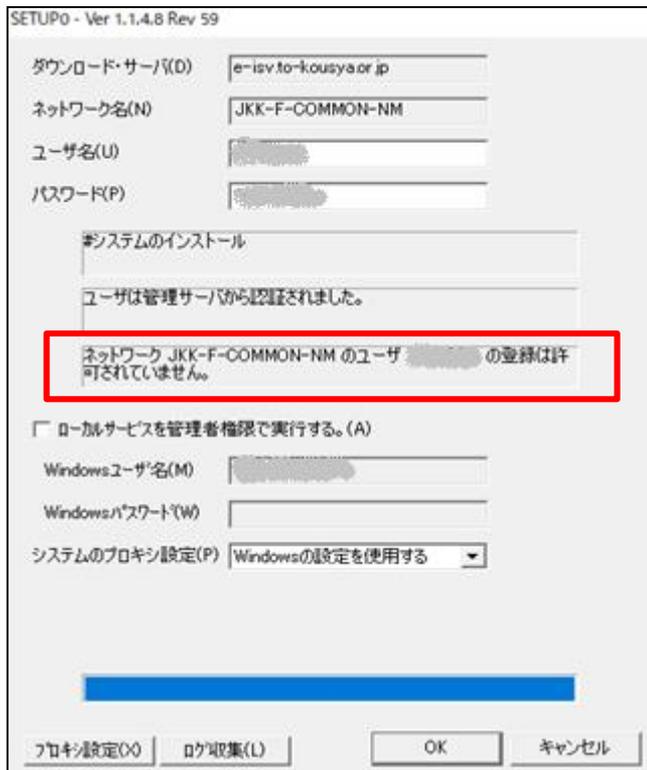
OK

【インストール時の失敗要因と対処内容】

利用者様の環境によって、対処方法が変わります。「原因」に対応する【対処】の対応をお願いいたします。

インストール処理の実行中／ユーザー情報のダウンロード	エラー内容	要因① ウィルスソフト関連	要因② Proxyサーバー環境	要因③ ファイアウォール
	<p>③インジケーターが止まったままで先に進まないまたは、失敗する。</p>	<p>【原因】 ウィルスソフトがドライバ等のインストール処理を抑制してしまった。</p> <p>【対処】 以下のフォルダを監視対象から除外する設定を行う。 ・C:¥Tcp2_</p>	<p>—</p>	<p>—</p>

【インストール台数が超えた場合のメッセージ】



SETUPo - Ver 1.1.4.8 Rev 59

ダウンロードサーバ(D) e-isv.to-kousya.or.jp

ネットワーク名(N) JKK-F-COMMON-NM

ユーザ名(U)

パスワード(P)

#システムのインストール

ユーザは管理サーバから認証されました。

ネットワーク JKK-F-COMMON-NM のユーザ の登録は許可されていません。

ローカルサービスを管理者権限で実行する。(A)

Windowsユーザ名(M)

Windowsパスワード(W)

システムのプロキシ設定(P) Windowsの設定を使用する

プロキシ設定(O) ログ収集(L) OK キャンセル

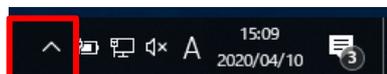
- (1) STSのインストール時に
 ~の登録は許可されていません。
 が表示された場合は、インストール台数を越えています。
 このため、インストールを続けることはできません。

次ページ「STSのアンインストール手順」を行ってください。

- ※インストール可能な台数は最大3台までです。
- ※STSをインストールしているパソコンを買い替え等で新しいパソコンに取り替えたい場合、古いパソコンからSTSをアンインストールする必要があります。
- (STSのアンインストールをしない場合、STSのインストールしている台数が減りません)
- STSのアンインストール手順は、(後述)「STSのアンインストール手順」ページを参照ください。

【STSのアンインストール手順】

※STSをアンインストールするには、パソコンの再起動が必要になりますので、必要なファイル等は必ず保存し、パソコンの再起動を行ってもいい状況にしてから、本作業を行ってください。



(1) 自分のパソコン右下に出ている「^」のようなアイコンをクリックします。



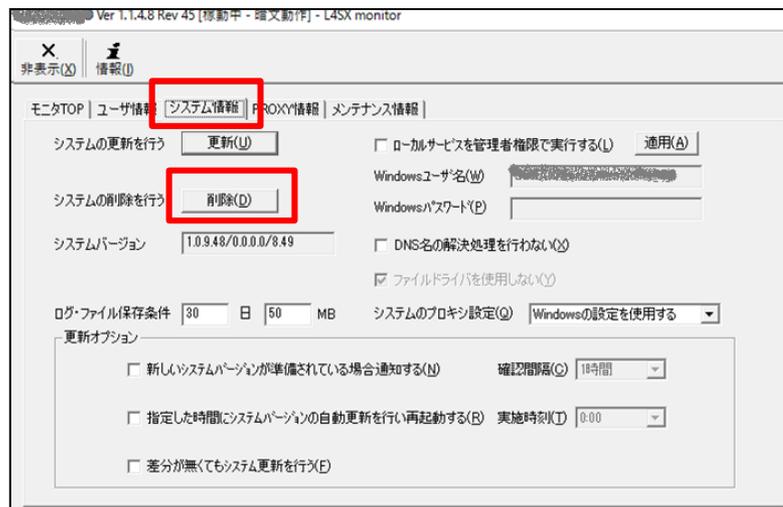
(2) 左記のような鍵のようなマークをクリックします。



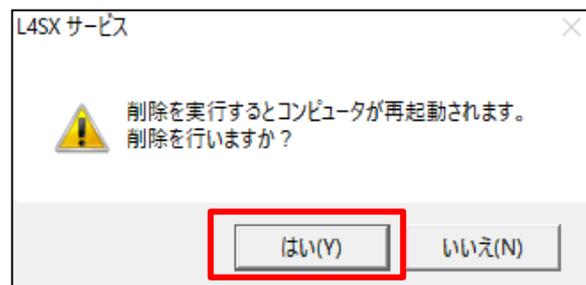
(3) 表示された画面の「モニタTOP」の以下の表示項目を確認してください。

- ・ネットワーク名 : JKK-F-COMMON-NM
- ・ユーザ名 : xxxxxxxx

※「ユーザ名」はインストールしたユーザ名が表示。



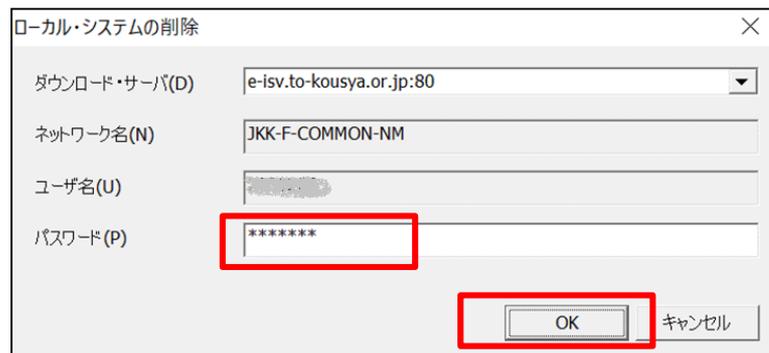
(4)「システム情報」の「削除」ボタンをクリックします。



(5) 左記のダイアログが表示されます。
[はい]ボタンをクリックしてください。



(6) 左記のダイアログが表示されます。
[OK]ボタンをクリックしてください。

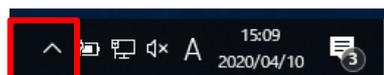


(7) 左記のダイアログが表示されます。
「パスワード」は、電子入札システムで使用している
パスワードを入力してください。

※[OK]ボタンをクリックすると、
パソコンの再起動が必要になりますので、
必要なファイル等は必ず保存してから、
[OK]ボタンをクリックしてください。

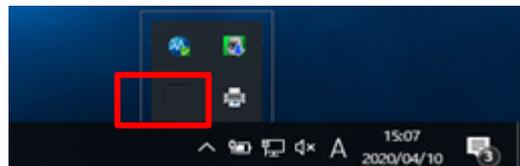
[OK]ボタンをクリックしてください。

パソコンが再起動されます。



(8) パソコンの再起動後、
自分のパソコン右下の「^」のようなアイコンをクリックします。

(アンインストール前に表示されていた) 鍵のようなマークがなくなっていれば、
アンインストール完了です。



【電子入札システムのパスワードを変更した場合（パスワードを失念し再発行した場合含む）】

- ・電子入札システムのパスワード変更（[パスワード変更]ボタンまたは[パスワードを忘れた方はこちら]リンクから変更）を行った場合は、以下の手順でSTSのパスワード設定も変更する必要があります。

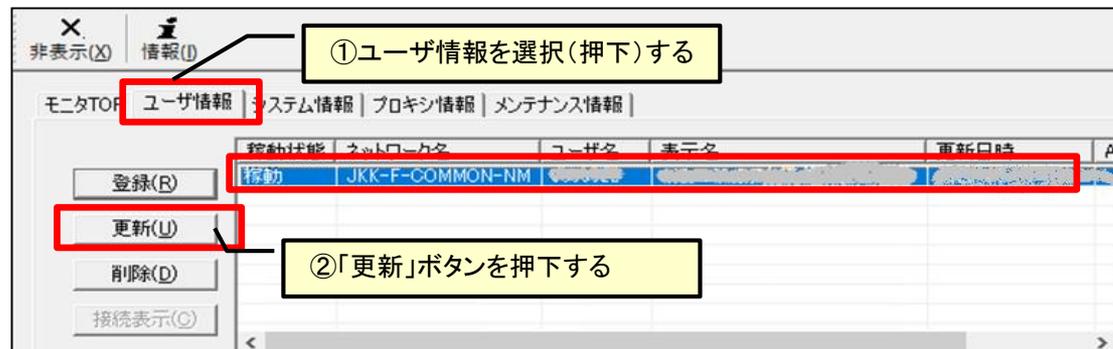
(1) STSをインストールしたパソコンの右下の^（隠れているインジケータを表示します）をクリックします。



(2) その中にある鍵マーク（水色または赤色）をクリックします。



(3) 更新を行うために、以下①～⑥の手順を順番に操作してください。



①ユーザー情報を選択（押下）する

稼働状態	ネットワーク名	ユーザ名	表示名	更新日時	A
稼働	JKK-F-COMMON-NM				

②「更新」ボタンを押下する

ユーザ情報の更新

ダウンロード・サーバ(D) SSL e-isv.to-kousya.or.jp:80

ネットワーク名(N) JKK-F-COMMON-NM

ユーザ名(U) [redacted]

パスワード(P) [redacted]

OK キャンセル

③「ユーザ情報の更新」画面が表示される。
パスワード欄に新しいパスワードを入力する

④「OK」ボタンを押下する

非表示(X) 情報(I)

モニタTOP ユーザ情報 | システム情報 | プロキシ情報 | メンテナンス情報

稼働状態	ネットワーク名	ユーザ名	表示名	更新日時	A
稼働	JKK-F-COMMON-NM	[redacted]	[redacted]	[redacted]	5

登録(B) 更新(U) 削除(D) 接続表示(C)

停止理由

更新オプション

ユーザ情報の自動更新を行う(A)

指定した間隔で自動更新を行う(N) 実施間隔(D) 18時間

指定した時間に自動更新を行う(M) 実施時刻(I) 0:00

ユーザ情報の差分更新を行う(E)

ユーザのアップデート

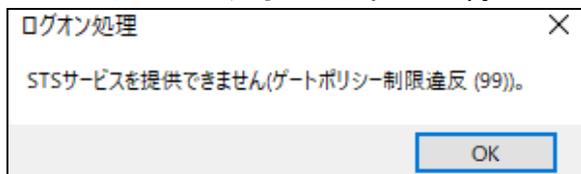
ネットワーク JKK-F-COMMON-NM のユーザ [redacted] を更新しました。

⑤更新がされた旨が表示されることを確認する

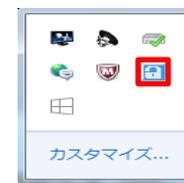
⑥「非表示」を押して、画面を閉じる

【「STSサービスを提供できない」メッセージが表示される場合】

STSシステムにログオンしようとした際に右のメッセージが表示された場合、お手数ですが次の対応を行ってください。

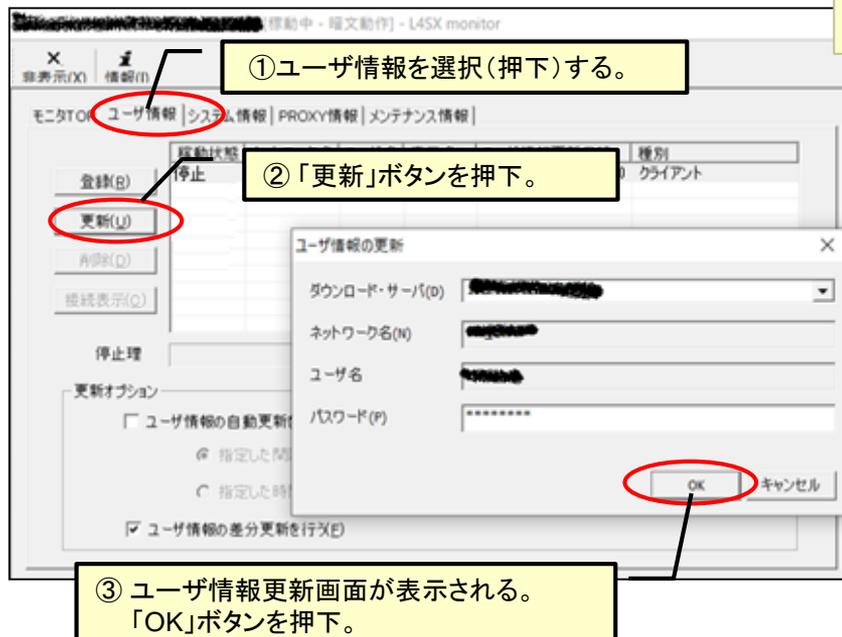


(パソコンの右下にある「^」をクリックして表示する)タスクトレイの右の
(青い鍵のようなマーク)アイコンをクリックすると、以下の画面が表示されます。



以下、①～④の手順を順番に操作してください。

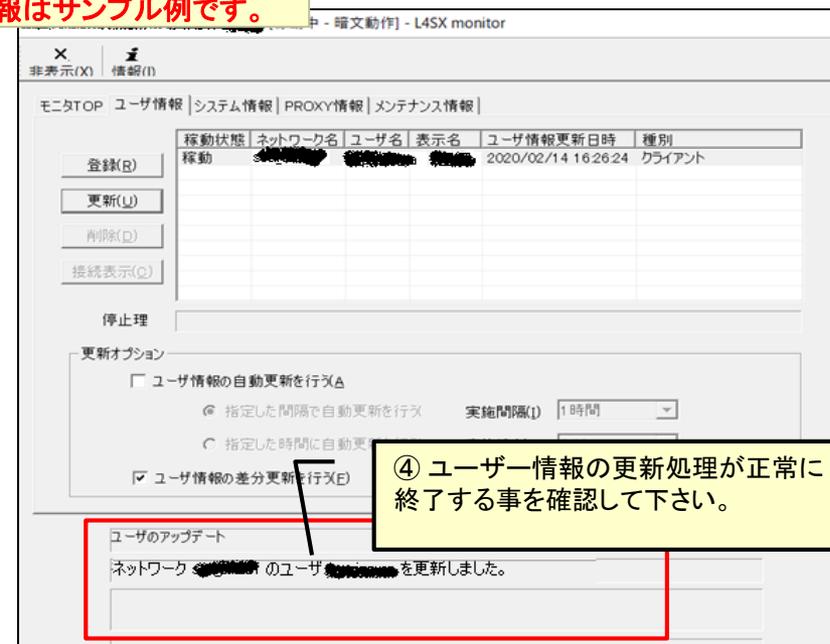
※画面に表示されている
情報はサンプル例です。



① ユーザ情報を選択(押下)する。

② 「更新」ボタンを押下。

③ ユーザ情報更新画面が表示される。
「OK」ボタンを押下。



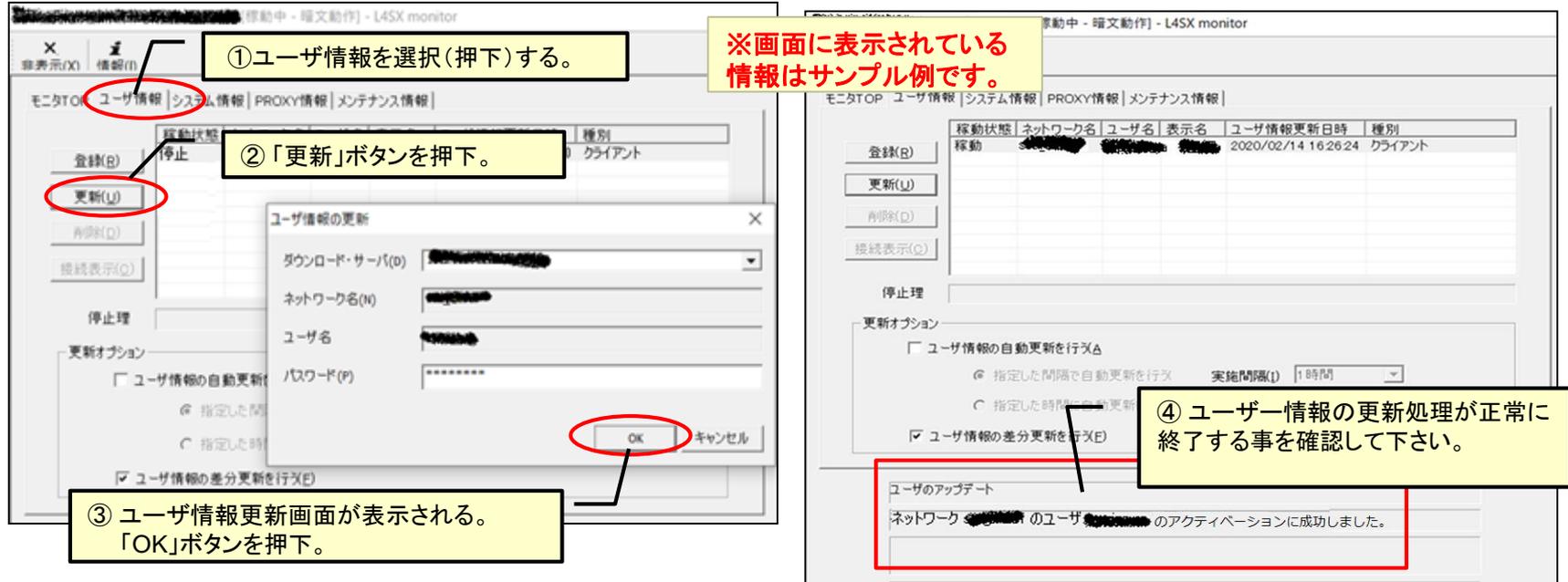
④ ユーザー情報の更新処理が正常に
終了する事を確認して下さい。

【STSにログインできない、右下のカギマークが赤色になっている場合】

- ・STSにログインできない
- ・(パソコン右下にある「^」をクリックして表示する)タスクトレイの右の鍵のようなマークのアイコンが赤い

上記のような場合、STS管理サーバーとの通信が15日間できていない可能性があります。

更新を行うために、以下、①～④の手順を順番に操作してください。

①ユーザー情報を選択(押下)する。

※画面に表示されている情報はサンプル例です。

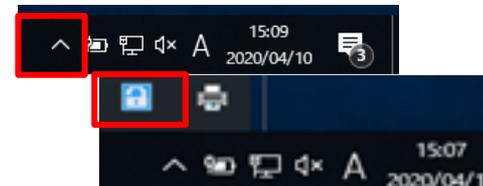
②「更新」ボタンを押下。

③ ユーザー情報更新画面が表示される。「OK」ボタンを押下。

④ ユーザー情報の更新処理が正常に終了する事を確認して下さい。

稼働状態	ネットワーク名	ユーザ名	表示名	ユーザー情報更新日時	種別
稼働	XXXXXXXXXX	XXXXXXXXXX	XXXXXXXXXX	2020/02/14 16:26:24	クライアント

(パソコンの右下にある「^」をクリックして表示する)タスクトレイの右の鍵のようなマークが青いマークになることを確認してください。



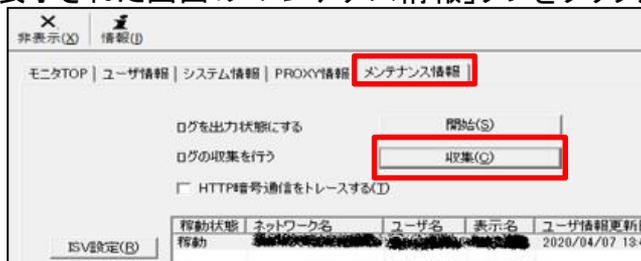
【「クライアントログ」の取得方法】

ログを取って送ってほしい旨の連絡があった場合、お手数ですが次の手順でログのファイルを取得し、メール等で送付ください。

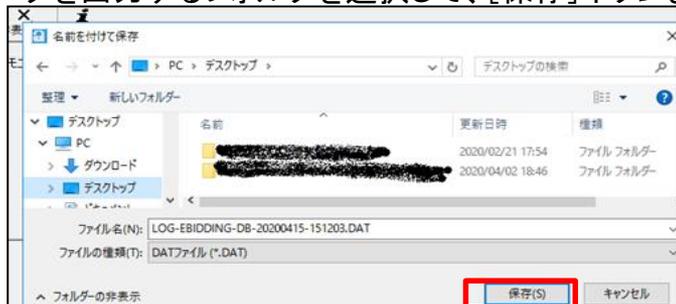
(パソコンの右下にある「^」をクリックして表示する)タスクレーの
右の(青い鍵のようなマーク)アイコンをクリックすると、下記画面が表示されます。



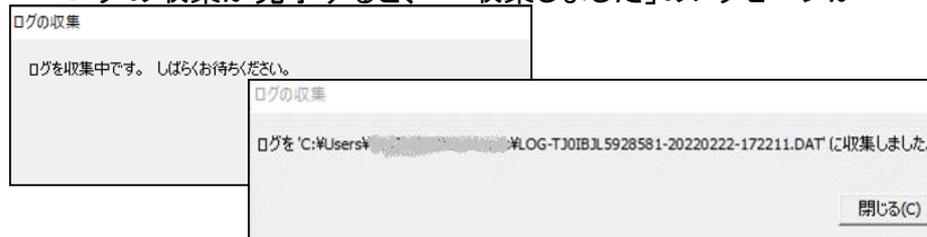
表示された画面の「メンテナンス情報」タブをクリックします。「収集」ボタンをクリックします。



ログを出力するフォルダを選択して、[保存]ボタンをクリックします。



※ログを収集している最中は、「しばらくお待ちください」メッセージ、
ログの収集が完了すると、「～収集しました」のメッセージが

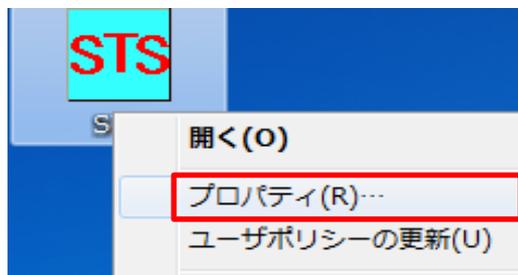


指定したフォルダにログファイル(.DATファイル)が作成されます。
保存したファイルを管理者にメール等で送付ください。

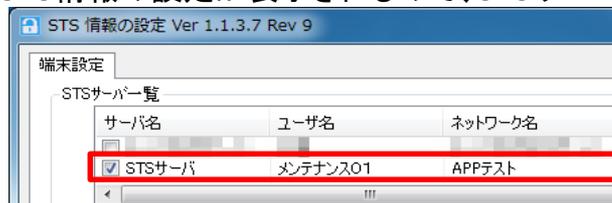
【STSアイコンを右クリックしてもログオンが表示されない場合】

STSシステムをインストールしたアカウントと、異なるアカウントでWindowsにログオンしている場合、STSアイコンを右クリックしてもメニューにログオンが表示されませんので、お手数ですが次の設定を行ってください。

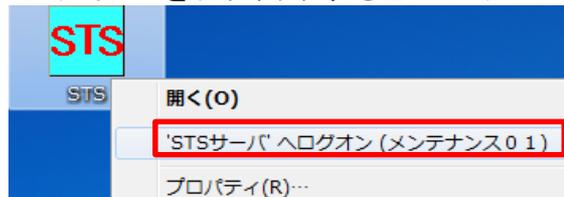
STSアイコンを右クリックして「プロパティ」をクリックします。



STS情報の設定が表示されるので、STSサーバ使用するSTSサーバにチェックを入れて、「OK」ボタンをクリックします。



STSアイコンを右クリックすると「STSサーバへログオン」が表示されるようになります。



【システムのアップデートに関する通知があった場合】

システムのアップデートに関する通知があった場合、お手数ですが以下の操作にて、システムの更新を行ってください。

(パソコンの右下にある「^」をクリックして表示する)タスクトレイの右の(青い鍵のようなマーク)アイコンをクリックすると、下記画面が表示されます。

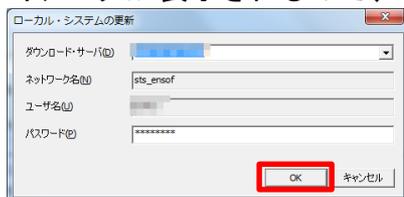


「システム情報」タブをクリックします。

「システムの更新を行う」の「更新」ボタンをクリックします。



ダイアログが表示されるので、「OK」ボタンをクリックします。



システムの更新がある場合、アップデートが行われます。更新がなければ、「Tcp2システムは既に最新です。」と表示されます。

※アップデート完了後、コンピュータの再起動が必要になります。

更新オプションの「新しいシステムバージョンが準備されている場合通知する」にチェックを入れ、「確認間隔」を設定すると、更新があった場合、タスクトレイ上に通知されるようになります。

STSは1者につきインストールできるパソコンは最大3台までとなるため、以下の場合にはアンインストールの対処が必要になります。

【STSをインストールしているパソコンを入れ替える場合】

STSをインストールしているパソコンを買い替え等で新しいパソコンに取り替えたい場合、古いパソコンからSTSをアンインストールする必要があります。

(STSのアンインストールをしない場合、STSのインストールしている台数が減りません)

STSのアンインストール手順は、(前述)「STSのアンインストール手順」ページを参照ください。